

大阪を巡る

臨時休館と一部展示室等閉鎖のお知らせ

大阪くらしの今昔館は、9/1(水)から17(金)まで展示替えのため休館します。また、天井改修工事の実施に伴い9階常設展示室(江戸時代のまちなみ)・10階展望フロアは、令和4年秋頃(予定)まで閉鎖します。

8階常設展示室では、明治・大正・昭和の住まいと暮らしをジオラマや映像、資料で再現し、物語に沿って模型や映像が変わる『住まい劇場』を引き続きご覧いただけます。また、8階吹抜けスペースには、大型映像コーナーを新設します。企画展示室には、町家座敷の再現や茶室の構造模型を展示します。

ぜひ、昔なつかしい暮らしを体感してください。



大型映像コーナー

江戸時代の大坂の町なみと天保年間の人々のくらしを、落語家の桂米團治氏の解説を交えて紹介。

9/18(土)から8階フロアに登場!



企画展示室

実物大の町家の座敷を再現し、四季のしつらいを展示。



茶室「蓑庵(さあん)」(大徳寺玉林院・重要文化財)の実物大構造模型を展示。竹中大工道具館蔵

9/18(土)から入館料が変わります。

入館料

一般: 400円/団体 300円
高・大学生: 300円/団体 200円 (要学生証提示)

※常設展と企画展を同時にご覧いただけます
※団体は20人以上

INFORMATION

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館

TEL:06-6242-1170

FAX:06-6354-8601

<http://konjyakukan.com/>

〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
住まい情報センタービル8階

休館日 火曜日。展示替臨時休館あり

開館時間

午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

入館料(8月30日まで)

常設展: 一般: 600円/団体500円

高・大学生: 300円/団体200円(要学生証提示)

企画展: 300円

常設展+企画展セット券:

一般: 800円/団体700円

高・大学生: 500円/団体400円(要学生証提示)

※団体は20人以上

※中学生以下、障がい者手帳等持参者(介護者1名含む)、
大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明書提示)

アクセス

■Osaka Metro堺筋線・谷町線、

阪急電鉄「天神橋筋六丁目」下車3号出口直結

■JR「天満」下車商店街を北へ徒歩7分

■阪神高速道路守口線

長柄出口から都島通りを西へ500メートル



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しています。
最新情報をホームページでご確認ください。

学芸員の
おすすめ
コレクション

大阪市立
東洋陶磁美術館

キ・オリベ後屈瓶

ポスターカラーのような強烈な黄色と黒色は、日本のやきものが見所としてきた情緒的な味わいを返けるかのような色彩で、生き生きとした模様は形と一体となっています。柳原睦夫は、現在の京都市立芸術大学で富本憲吉(1886-1963)に陶芸を学んだ後、1960~70年代にかけて数度に渡りアメリカで教鞭をとっています。帰国後、鮮烈な金銀彩を用いた独特の造形作品で注目されますが、作家はむしろ「絶対に陶芸を捨てない」という意識の中で、日本のやきものの豊かな文化の連続性を否定せず、現代における新しい表現を模索してきました。

大阪市立東洋陶磁美術館学芸員 宮川智美

企画展「受贈記念 柳原睦夫 花喰ノ器」令和3年8月11日(水)~令和4年2月6日(日)

最新情報はホームページにてご確認ください。

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 TEL 06-6223-0055 FAX 06-6223-0057

ホームページ <https://www.moco.or.jp> アクセス ●京阪中之島線「なにわ橋駅」1号出口すぐ

●Osaka Metro・京阪本線「淀屋橋駅」1号出口、「北浜駅」26号出口各駅から約400m



柳原睦夫(1934~)

キ・オリベ後屈瓶

1995年 施釉陶 高64.0cm 幅46.0×26.0cm

大阪市立東洋陶磁美術館所蔵

《大森敬吾氏(Museum李朝)寄贈》

大阪市立の博物館・美術館・動物園 Osaka Museums <https://ocm.osaka>

大阪歴史博物館 大阪城天守閣 大阪市立自然史博物館 大阪市立美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 大阪市文化財協会

大阪市立科学館 天王寺動物園 大阪中之島美術館準備室 大阪くらしの今昔館